

農業と地域の未来に挑戦

～創意工夫の改革と実践～



ディスクロージャー

～2016 上半期 (2016.4.1～9.30) ～



さまざまな人々に 豊かな恵みとうるおいを与えるJA



新規就農者支援として、平成 28 年度に就農された海津市のトマト生産者 3 名、大垣市のイチゴ生産者 1 名に対し、県補助事業を活用した栽培用ハウスの建設など、就農準備にかかる支援を実施しました。今後も県、市町をはじめ関係各機関と連携して、新規就農者支援を継続して実施していきます。

また、主食用米の需給改善と農業所得の安定のため、生産数量目標の深堀りを伴う飼料用米への作付転換を提案し、作付面積が増加しました。今後、次年産の作付に向け、需給動向を情報収集し、飼料用米の作付提案を行っていきます。

3. トピックス

9月20日、大垣市宮町(大垣駅前)のスイトスクエア大垣の一角に中部支店、ローンセンター中部店、ファーマーズマーケット中部店を新築移転オープンしました。

中部支店の支店内には、ローンセンター中部店を併設し、ローン相談の充実を図ったほか、当JAでは初めて全自動の貸金庫80台を新設しました。

ファーマーズマーケット中部店は、スイトアベニュー 1 階に入り、管内のファーマーズマーケットでは、初めてサラダ用のカット野菜を販売するほか、店外では、軽トラマルシェを開催し、地元農産物の魅力を発信していきます。



4. 地域貢献活動

1 文化的・社会的貢献に関する事項

JA にしみのでは、安心して暮らせる豊かな地域社会を実現するため、食農教育をはじめとして、スポーツ支援、地域との交流などさまざまな事業活動を通じて、地域貢献に取り組んでいます。

<食農教育活動>

次世代を担う子供たちに、「食」と「農」の大切さを知ってもらうため、農業体験活動を行っています。農業体験学習会「ふれあいキッズクラブ」では、農作業の種まき・定植・栽培・収穫作業と収穫した野菜を使用した調理実習まで、食と農の繋がりを学習しています。

また、女性部が大豆の普及と活用をすすめる「まめなかな運動」として食農リーダー(ふるさと隊)が中心となり、小学校などでの大豆栽培・豆腐作り指導を行っています。

この他、米の消費拡大を進める料理教室や生産者との交流なども行っています。



<地域交流活動>

組合員、地域の皆さまとのつながりを深めようと、農涼祭を8月6日に開催し、約 3,000 人の来場者で賑わいました。

4回目を迎えた今年は、名称を「納涼祭」から「農涼祭」に変更し、地域とのつながり、「農」の魅力発信に重点を置いたイベントを企画しました。



<生活支援活動>

買い物に不便な地域の高齢者の生活支援を目的に、大垣市上石津町の多良・時地区、関ヶ原町の玉・今須地区で新鮮な野菜、一般食品、生活日用品等の移動販売を行っています。(移動販売車「絆～きずな～号」)

<スポーツ支援活動>

大垣市に本拠地を置き、日本女子リーグ 2 部に所属する大垣ミナモトボールクラブを支援しています。(当JAには 3 名の選手が所属しています)

当JAでは応援団を結成し、9月10日、11日に大垣市浅中グラウンドで行われたリーグ戦には、役職員約 120 人がスタンドで熱い声援を送りました。

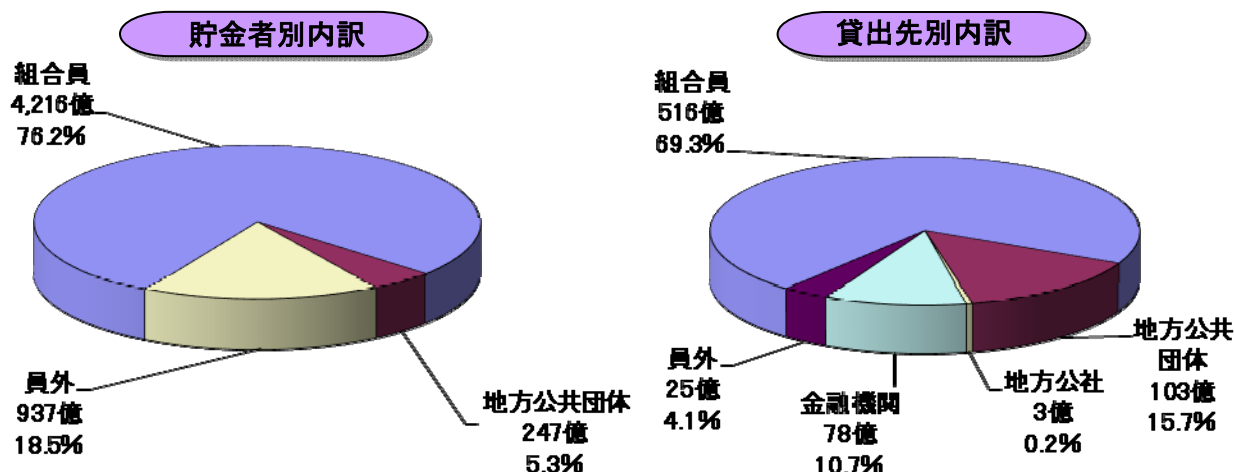
<情報提供活動>

地域の皆さまの農業や暮らしに役立つ情報の提供として、管内の農産物の紹介や地産地消レシピなどさまざまな情報を広報誌「じゃん!」やホームページなどで発信しています。

ホームページアドレス <http://www.jan.or.jp/>

2 地域からの資金調達および地域への資金供給の状況

組合員の皆さまの大切な財産をお預かりする一方、資金を必要とする組合員の皆さまや地方公共団体へのご融資を行うことで、農業の発展と安心して暮らせる豊かな地域社会の実現に努めています。



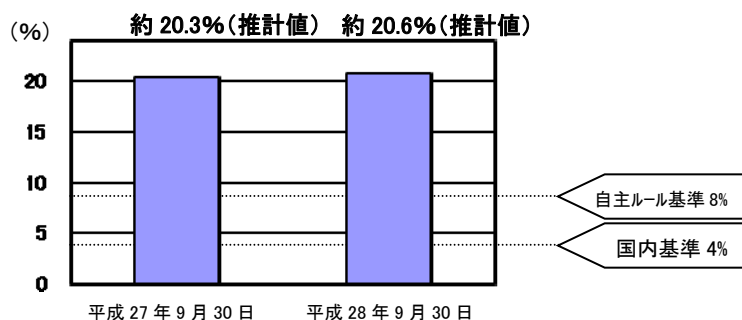
5. 貸借対照表・損益計算書

1 貸借対照表

(単位: 百万円)

資産の部				負債・純資産の部			
科 目		金 額		科 目		金 額	
		平成 27 年度 (平成 27 年 9 月 30 日現在)	平成 28 年度 (平成 28 年 9 月 30 日現在)			平成 27 年度 (平成 27 年 9 月 30 日現在)	平成 28 年度 (平成 28 年 9 月 30 日現在)
信用	現金・預金	420,850	424,232	信用	貯金	538,036	540,109
	有価証券	57,061	56,638		借入金	320	285
	貸出金	72,947	72,750		その他の信用事業負債	2,684	1,701
	その他の信用事業資産	1,774	1,754	共済	共済借入金	63	71
	貸倒引当金	△1,450	△1,214		共済資金	1,180	1,300
共済	共済貸付金	63	71		未経過共済付加収入	898	875
	その他の共済事業資産	2	1	経済	その他の共済事業負債	6	3
経済	受取手形	2	1		経済事業未払金	295	374
	経済事業未収金	1,273	1,411		経済受託債務	687	827
	経済受託債権	718	809	雑負債	その他の経済事業負債	677	821
	棚卸資産	359	362		雑負債	1,082	1,306
	その他の経済事業資産	840	1,024		諸引当金	2,261	2,279
	貸倒引当金	△84	△42	負債の部合計		548,194	549,956
雑資産		307	291	組合員資本	出資金	4,763	4,736
固定資産		9,636	9,777		利益剰余金	30,421	31,208
外部出資		19,624	19,139		(うち当期剰余金)	(338)	(347)
繰延税金資産		278	128	評価・換算差額等		825	1,237
				純資産の部合計		36,010	37,182
資産の部合計		584,205	587,139	負債及び純資産の部合計		584,205	587,139

9. 自己資本比率



自己資本比率とは、経営の健全性を示す指標の一つで、JA が保有する貸出金や有価証券等のリスクがある資産に対して、出資金などの自己資本がどれくらいあるかを示し、自己資本比率は数字が高いほど、一般に「体力」があるとされています。

JA の場合は、JA バンクの自主ルール基準で 8% 以上の自己資本比率が義務付けられています。

前年同月と比較し、利益剰余金等の自己資本の増加により、約 0.3% 上昇しました。

注) 上半期(9 月 30 日)の単体自己資本比率(推計値)は、前年度末のオペレーショナル・リスク相当額、上半期(9 月 30 日)の自己資本額および信用リスク・アセット額(推計値)に基づき算出しています。なお、信用リスク・アセット額(推計値)については、一部の項目について、前年度末の額を使用しています。

10. 有価証券の時価情報

有価証券の運用にあたっては、貯金等の金利リスクの軽減および安定収益の確保を基本として、安全性を重視し、国債・地方債を中心にポートフォリオ(分散運用の組み合わせ)の構築を図っています。

①満期保有目的の債券

(単位: 百万円)

種 類	平成 27 年 9 月 30 日			平成 28 年 9 月 30 日		
	貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
国 債	9,225	9,682	457	6,124	6,789	665
地 方 債	23,687	24,563	875	24,504	26,094	1,590
政府保証債	202	204	1	307	348	41
社 債	2,920	3,001	81	3,956	4,016	60
合 計	36,035	37,451	1,415	34,892	37,250	2,358

②その他有価証券

(単位: 百万円)

種 類	平成 27 年 9 月 30 日			平成 28 年 9 月 30 日		
	償却原価	貸借対照表計上額	差額	償却原価	貸借対照表計上額	差額
国 債	16,363	17,471	1,107	14,650	15,946	1,295
地 方 債	3,527	3,554	27	4,799	5,218	418
社 債	—	—	—	596	582	△13
合 計	19,891	21,025	1,134	20,045	21,746	1,700

注) 有価証券の時価は期末日における市場価格などに基づく時価としています。



アドレスはこちらです。

にしみの

検索

<http://www.jan.or.jp/>

ご意見・ご要望がありましたら、こちらの
メールアドレスまでお寄せください。

E-mail : info@jan.or.jp

●本冊子に記載の金額は、単位未満を切り捨てて表示しており、金額が単位未満の科目については「0」で表示してあります。そのため表中の合計、増減高および差額が一致しない場合があります。